

産業建設委員会

視察日 7月8日～10日
視察市 神奈川県川崎市、相模原市
視察項目

- 川崎市
 - ・水素社会に向けた川崎水素戦略
 - ・家庭ごみの「ふれあい収集」
- 相模原市
 - ・道路通報アプリ「パツ！撮るん。」
 - ・さがみはら森林ビジョン実施計画

水素社会に向けた川崎水素戦略

川崎市は、もともと臨海部の工業地帯に燃料電池関連技術の企業が多数集積していた。そこに千代田化工が水素を液体化し運搬する技術を開発したことで活用方法について相談があり、水素戦略作成へのきつかけとなったと説明があった。まとめで、エネルギー資源の乏しい日本では水素はエネルギー安全保障と地球温暖化対策の切り札と期待されており、水素社会実現に向け川崎の特徴・強みを生かし積極的な導入と利活用で未来型環境産業都市実現につなげていきたいと話していた。

家庭ごみの「ふれあい収集」

自分でごみを出すことができない高齢者や身近な人の協力が困難な障がい者を対象にした制度で、収集日に職員が自宅前からごみを収集すること。今後に対しての質問に、過去5年で実績が約1.5倍にふえており、需要がふえていくことを念頭に入れ、体制づくりやサービス内容の検討が必要と考えているとのことだった。

道路通報アプリ「パツ！撮るん。」

市が管理する道路の破損状況を、スマホのカメラ

とGPS機能を利用して市民が手軽に通報できるスマホのアプリとのこと。通報されたメールは担当課が確認し土木係が現場を確認の上、補修されるとの説明があった。
導入効果として、従来は電話でのやりとりで場所や状況、規模の把握が難しかったが、写真で状況や場所が確認でき早期に対応できるとのこと。対応についての質問に対しては、簡易な補修は職員が対応難しいものは委託や工事発注で対応しているとのことだった。

さがみはら森林ビジョン実施計画

津久井地域はスギ・ヒノキを中心に9割が伐採適期を迎えている。しかし木材価格の低迷、林業労働者の減少により森林所有者の管理意識が低下し、手入れ不足の森林が増加したことから森林の将来像を見据え、木材の利活用を図り、森林所有者、林業関係者、消費者、市民が連携のもと森林が持つ公益的な機能を発揮できるように、市民全体で整備体制の構築を図るべく「ビジョン」を策定したとの説明があった。
(落合範良)



主な要望活動

渡辺優子議長は8月1日・2日に、秋田・山形・新潟3県の沿岸17市町村議会で組織する東北日本海沿岸市町村議会協議会の活動として、国土交通省、財務省、自由民主党国土交通部会長、各県選出国会議員に、地域の課題についての要望書を提出してきました。
提出した要望事項は次のとおりです。
○日本海沿岸東北自動車道の建設促進について
○羽越本線整備促進・高速化推進及び羽越新幹線整備促進について

このほか、議員活動の一環として、各種同盟会等が行う要望活動へ積極的に参加し、国や県、地方選出国会・県議会議員に対して道路や河川の整備、それによる市民の安全・安心の確保等の要望を行っています。

今年度これまで議長や議員が要望活動に参加した同盟会は次のとおりです。

- ・秋田県奥羽・羽越新幹線整備促進期成同盟会
- ・国道101号整備促進期成同盟会
- ・西津軽能代沿岸道路建設促進期成同盟会
- ・八戸・能代間、北東北横断道路整備促進期成同盟会
- ・能代港洋上風力発電拠点化期成同盟会
- ・県道西目屋二ツ井線早期改良整備期成同盟会
- ・米代川治水期成同盟会
- ・秋田県北部国道7号整備促進期成同盟会
- ・日本海沿岸東北自動車道建設促進秋田県北部期成同盟会